

## Peripheral Driver Generator V.2.01 ご使用上のお願い

Peripheral Driver Generator V.2.01の使用上の注意事項を連絡します。

- マルチファンクションタイマパルスユニット2 (MTU2) のタイマジェネラルレジスタの値を取得する際の注意事項

### 1. 内容

Peripheral Driver Generator上でRX62Nのマルチファンクションタイマパルスユニット2 (MTU2) を使用する設定をすると、タイマジェネラルレジスタ (TGR) の値を取得するための関数R\_PG\_Timer\_GetTGR\_MTU\_Um\_Cn (m:0,1 n:0~11) が生成されます。

この関数の引数の仕様は以下のとおりです。

- 値を取得するTGRに対応する引数には、値を格納するポインタを指定する。
- 値を取得しないTGRに対応する引数には、0を指定する。
- チャンネルに存在しないTGRに対応する引数には、0を指定する。

しかし、(2)の値を取得しないTGRに対応する引数に0を指定すると、(1)の引数にポインタを指定したTGRの値が取得できません。

((3)のチャンネルに存在しないTGRに対応する引数についてのみ、0を指定した場合は該当しません。)

### 2. 発生例

チャンネル0のタイマジェネラルレジスタA (TGRA) の値を取得する場合：

```
-----  
uint16_t tgr_a;  
R_PG_Timer_GetTGR_MTU_U0_C0(  
    &tgr_a,  
    0,  
    0,  
    0,
```

```
    0,  
    0  
);  
-----
```

### 3. 回避策

チャンネルに存在するTGRに対応する引数に0を指定しないで、値を格納するポインタを指定 (値を取得) してください。

発生例の回避例 :

```
-----  
uint16_t tgr_a, tgr_b, tgr_c, tgr_d, tgr_e, tgr_f;  
R_PG_Timer_GetTGR_MTU_U0_C0(  
    &tgr_a,  
    &tgr_b,  
    &tgr_c,  
    &tgr_d,  
    &tgr_e,  
    &tgr_f  
);  
-----
```

### 4. 恒久対策

Peripheral Driver Generator V.2.02で改修する予定です。

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。